

東洋唯一の週刊新聞!!!

明治新報

毎週一回月曜日發行

定價 郵税共一部金三錢●十三部金三十六錢

●二十五部金六拾五錢●五十部金一圓二十錢

特色

●主義は不偏不黨●農工業改良の稱首●家庭の改善●商況精確●每號美しき寫真版を挿入し●社會の重要なる出來事は勿論娛樂の分子に到る迄漏らす處なし

本紙第一週年紀念

として愛讀諸君に報ゆる爲本紙五十部の代金を前金にて二月末日迄に拂込せられたる諸君に申込順に依りたる番號券を配附し置き翌月より毎月一回抽籤を以て向ふ一ヶ年間左の

景品を贈呈す

景品目録

一 二 三 四 五 六
等 等 等 等 等 等

銀側懷中時計
置形縮緬半襟
新珍塗製煙草入
チエリ洗粉
以下二十等迄景品進呈す

一 一 一 一 一 一

個個掛本

但し申込入三千名を越ゆる時は金側懷中時計一個を特等とし

●既に一ヶ年分拂込済の諸君は代金の滿つる月迄抽籤に加ふ
●抽籤の方法は本紙を見らるべし

東京市麴町區飯田町五丁目廿四番地

申込所

明治新報支社

大 改 良

家庭

●毎月一回五日發行 ●明治三十年一月第三卷第一號發行 ●定價一部八錢半年分四十二錢一年分八十錢 郵稅共

東京府巢鴨村二二五五

家庭庶務部

●注意 ●より 次號 南條博士 の講話 ●注意 ●より

「家庭」は佛教の根底に立ち起されたる唯一の宗教的女學雜誌なり
 ば「家庭」は宗教の自覺に依りて社會を見、國家を見、道徳を見、夫婦を見、男子女子を見、親を見、子を見、兄弟姉妹を見るなり
 はまた「衛生」を語り「育兒法」を語り「裁縫」を教へ「交際法」を教へ
 料理法を教へ、日常女子の裁縫などに応用すべき學術
 技藝を教へ、文學を教へ和歌の講義は國文の講義を語る也 ●講讀する人は座として宗教上の説話を聞くべし
 料理人 裁縫師 學者 醫師 等を常に聘し

●注意 ●より 次號 南條博士 の講話 ●注意 ●より

次 目

| | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ●●●●● 海の色 彩の光 話の語 | ●●●●● 萬葉集 講義 | ●●●●● 女子と宗教 | ●●●●● 御正月 (小説) | ●●●●● 西洋料理法 | ●●●●● 小兒の衛生 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 |
| ●●●●● 海の色 彩の光 話の語 | ●●●●● 萬葉集 講義 | ●●●●● 女子と宗教 | ●●●●● 御正月 (小説) | ●●●●● 西洋料理法 | ●●●●● 小兒の衛生 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 | ●●●●● 眞の交際法 |
| 土伊 | 山岫 | 安藤 | 掃や | 大内 | 左山 | 左山 | 左山 | 左山 | 左山 | 左山 | 左山 |
| 井 | 北 | 藤州 | 除 | や | 川 | 川 | 川 | 川 | 川 | 川 | 川 |
| 生 | 古 | 一 | 女 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 |
| 生 | 斗 | 一 | 女 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 |